

2007-2008 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区ガバナー 江崎 柳節

エーゲ海の白昼夢【撮影 江崎 柳節】

ガバナー月信 No.10



ロータリーは
分かちあいの心

2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ

ガバナーメッセージ	2
雑誌月間に寄せて	4
第16回ライラセミナー報告書	6
IM 報告	7

2007~2008年度 第2760地区委員長会議	10
ガバナーからのお知らせ	13
インターネット速報・文庫通信	14
会員出席率報告(2月分)	15

4月

2008年4月1日発行

One Difference 違いをもたらそう

2007~2008年度
国際ロータリー第2760地区のテーマ



Governor Message

ロータリーにおける

クラブ会長各位

クラブ幹事各位

ロータリーが100年を持ちこたえてきた現況にあって、今後のロータリーを考えるのに2つの方法が提起されています。一つは無理しないでそのまま例年通り運営する事を良しとする見解と、もう一つは今奉仕の第二世紀を迎えるに際してロータリーのあり方を検討し直そうという意見であります。

その中にあってこの動きとは無関係にエネルギーが注がれているのは会員増強であろうと思います。毎年のように増強が図られ、それでも次年度の期首には、前年並みの数に戻ってしまう現象は食い止められるでしょうか。

増強は明らかに2つの重要な因子から成ります。入会とその後の会員維持という異なった努力です。今年度から“退会防止”という言葉は使われなくなりました。言葉がロータリーに似合わないからです。“会員維持”と云うことになりました。増強には会員の発掘という従来から困難な作業がありました。これは大部分のクラブが会員増強委員会、就中会員増強委員長さんの孤独な作業で推し進められてきました。何となれば多くの場合、クラブ細則で増強委員会はクラブ奉仕委員長の統轄下の一小委員会に過ぎないからです。増強委員長はクラブの生命線に関わる重要なお役目でありながら理事会にも入っていないクラブが大半であったからです。年間を通じて理事会で毎月検討され、クラブ挙げて職業分類の未充填職種を調べ上げクラブ全員で手分けして優秀な若者を探すこと、この想いがCLPの5項目には盛られています。

そして入って頂いた新入会員の安定・維持（Retention）はもう増強の役目ではなく、クラブ奉仕委員会の持つ機能である研修、親睦、プログラム、出席などの委員会ですら十分ケアすることになります。新入会員を委員会に配属する事が重要なことではなく、彼、彼女をクラブ奉仕が全力でロータリーを指南することに集中すべきなであります。クラブ奉仕委員会の中に新人ばかりでなく、中堅会員に対し、真のロータリーを知ろうとする熱意に応える学習、研鑽機能が備わっているでしょうか。“クラブは人間形成の道場”といわれているように新入会員にとって面白く、憧憬に満ちた期待に応える例会のレベルになっているでしょうか。これはCLPの“クラブ運営管理”の中であらためて検討してほしい重要課題として提供されていることなのです。

我々はロータリアンである誇りを自分達には感じています。素晴らしい奉仕の手応えも日頃感じています。そしてあなたのご夫人は同じようにあなたをロータリアンとして誇らしく思っておられるでしょうか。お子様はどうで

会員維持

国際ロータリー2760地区ガバナー 江崎柳節

しょう。ご近所の方はロータリアンとしてのあなたを尊敬しておられますか。これからロータリーに憧れて入りたいと願っている若者にその素晴らしさを知ってもらおうとされていますか。

さらに大切なことは、入れた新会員にロータリーの素晴らしさを集中講義的に語ってあげていますか。その役目の会員がクラブにいますか。いまは本来なら素晴らしいはずのロータリーが素晴らしさを知られていない事が問題なのです。会員が誇らしく思い、これから入る若者が憧れるロータリーはどうすれば出来るのでしょうか。簡単なことです。これを解ってもらえるように語ってあげる、ちょっとした努力があなたにほしいのです。これこそあなたの責任なのです。CLPの5項目の中で“広報”とあるのは“ロータリーの公共イメージを語り継いで頂くことなのです”。

ロータリーのもつ数え切れないプログラムは我々がつぶさに知っている以上に世界中で実践され輝いています。私のふるさと小牧市は15万人の地方小都市です。ここに30年間に約30人の国際青少年交換留学生学友が活躍しています。どの団体も真似のできないスケールとボリュームの地域の宝です。誇りです。ロータリー財団は特に新世代に、世界の人道に、生命保持に凄いことをしていることは知れば知るほど驚きです。国際のWCSも、社会奉仕のRCCでも、クラブでお話を伺って畏敬の念を禁じ得ません。我々が少しずつ行う財団、米山への寄進で、われわれが知らないうちに、一人の力ではとても出来ない凄いことを自然にできてしまっています。これは我々のもつロータリー・マジックで無くて何でしょう。ロータリーにいただけで私たちは変えられている事を発見致します。地区に出ている委員会の人々は驚くほどのパワーで奉仕に集中しています。あなたのクラブから地区主催の会議に御出席された委員長さん方に、その時の印象と、しばしば得られる感動をクラブに持ち帰って会員に語ってもらってください。“クラブを超えた指導者の育成”とその感動は今年度の地区テーマの一つです。情報と感動を“Shares (分かちあい) するようお計らいくださることを御願い致します”。

あなたのクラブの今期の成果を褒賞する応募を今行っています。月信に掲載しています。もう締め切った賞もありますが、間に合う項目にはぜひご応募下さい。今期の素晴らしいご活躍と成果を感謝しております。

雑誌月間に寄せて



ロータリーの広報活動には「友」が一番!!

広報委員会委員長 青木 勇 作

1. 雑誌と広報活動

当然のことではあります、前年度から当地区では広報委員長会議を「広報・雑誌委員長会議」として3回連続して開催しました。別にご報告もさせていただきましたが、去る2月12日に開催した「第2回広報・雑誌委員長会議」にも、このため約100人の方々が参加して下さいましたので、お蔭様で本当に盛大な会議になりました。

もともと「広報って一体なんなの」と一言で言っても簡単に定義できるものではありません。それだけに、各クラブにおいて広報委員長のお役が廻って来た方は、「どうすりゃ良いの」と悩まれる訳です。

先日の委員長会議でも江崎ガバナー、片山ガバナーエレクト、藤井伸三「友」地区委員にお話を聞かせて頂きましたが、少しずつお考えに差はあります。然し、お三方のご体験同様当然のことだと思います。それでもやはりお話を聞きしますと「なるほど」と思う機会が頂けますので、このような会議は本当に貴重だと考えております。

「広報」は、ロータリーの組織内への活動と組織外即ち一般社会への活動から成り立っています。「友」をはじめ各クラブの「月報」や「週報」などは、明らかに内に向けたツールの一つです。然しながら、RIとわが国全体のロータリー情報がこれだけぎっしり詰まったものは他にはありません。何とか大切にしたいものだと考えます。

ロータリーの活動をPRして行くのに、もっともこの雑誌を使わねばならないと言うのが、ポイントです。

2. 「ロータリアン一人ひとりが広報マン」の決め手は「友」を読むこと

ここ数年、広報の重要さがRI会長はじめ皆さんから強く発言されるようになりました。勿論、当地区も全く同じ歩調です。そのおかげで、各クラブの広報への関心も急速に高まりつつあると思います。また、広報活動も活発になって来ました。ただ、ロータリーは毎年担当の分野が変わりますし、一般の企業とは、組織も職制と称するものも大分異なっています。その環境の中で積極的な広報活動を展開することは、決して容易ではありません。

各クラブの広報活動は今後一歩ずつ前進して行くと確信しておりますが、そのための地盤作りにも「皆で友を読み話し合うこと」が大切だと考えます。その様な努力こそが、今後のロータリーで不可欠だとも思います。

当地区内5、150人の会員の皆様が、「友」を読みこなして頂き「一人ひとりが広報マン」になって頂けますよう心から願っております。皆様、ロータリーの折角の立派な実績を周囲の皆様に何とかご理解頂きましょう。

3. 「ロータリーの友」に教えられて来た事

手前味噌で恐縮ですが、私は岡崎ロータリーに入会させて頂いてまだ、たったの13年です。それでもいろいろな仕事を体験させて頂き、2002年7月から1年間雑誌委員長を務めさせて頂きました。今回、この原稿を書くようにお話頂いてパソコンのファイルを引っくり返しておりましたら、12ヶ月間の毎月「友」を紹介した原稿が12枚（A4版）と雑誌月間の卓話の原稿が出て参りました。これには、友創刊50年の歴史表まで3枚に亘って付いております。この年を契機として、岡崎クラブでも毎月しっかりした「友」の紹介が委員さんから行われるようになりました。自身の大変な勉強にもなりましたし、このような動きがその後の自クラブの活動に繋がったことは、大変嬉しいことだと感謝いたしております。何と云っても、広報は「一歩一歩あせらずに」だと信じます。

雑誌月間に寄せて



ロータリーの友地区委員 藤井伸三

4月はロータリーの雑誌月間です。「ロータリーの友」の購読と活用促進に役立つプログラムを行なう月間です。

「ロータリーの友」に対する会員の認識を深め、それによってロータリー情報の普及をはかることを目的としています。

そこで「ロータリーの友」を読んでもらうことを書きます。まず2008～2009年度になって表紙が変わったことにお気づきになりましたか？

2年間にわたってロータリアンの写真による表紙が、大好評をいただきました。

2008～2009年度の表紙は「環境」をテーマに、陸の生物、水の生物の写真に掲載することにいたしました。これらを専門に撮っているプロの写真家の写真で、一年間表紙を飾ります。普段なかなか見ることのできない生物、よく見かけるけどちょっと違う視点で撮った写真をお楽しみいただくとともに、壮大な自然、美しい地球に思いを馳せていただけることと思います。

もう3月号まで来てしまっていますが、今一度2月号、1月号と逆戻って見て下さい。そして次はどんな表紙が来るか期待して、「ロータリーの友」が届くのを待つて下されば雑誌月間の目的の半分は達成されます。そして届いた表紙を見られたら、どうしても表紙のメッセージをご覧になられるでしょう。これで雑誌月間の目的の80%は達成されます。これを年間続けて下されば真に100%達成に近づきます。宜しくお願いします。

次に「ロータリーの友」は、1953年1月に創刊され2003年1月で創刊50周年になり、新しい時代に合った「ロータリーの友」を目指して、B5判をA4変型判に変更されました。発行部数も3,300部だったのが55年後の2007年7月号では、約10万7,500部におよび通巻655号を数えています。

「ロータリーの友」の名前については、第2回準備会で投票によって遠藤健三氏提案の「ロータリーの友」に決定しました。この名称に対し、柏原孫左衛門氏が、おつまみの「ビールの友」からヒントを得たのではと発言、爆笑となったそうですが、遠藤氏自身後日談で「主婦の友」からヒントを得たと述べています。ところが、そのヒントとなった「主婦の友」は5月に発売する号で休刊することになり、91年の歴史に幕を下ろすこととなりました。

(2008年2月28日号朝日新聞)

一時は160万部の部数を誇ったそうですから、時の流れは大変なことだと感じました。

「ロータリーの友」が益々部数を増やし発展することを願って止みません。



第16回ライラセミナー報告書

地区ライラ委員長 坂田 憲治

2月23日(土)・24日(日)の二日間で、国際ロータリー第2760地区ガバナー主催の第16回RYLAセミナーが、サンパレア瀬戸(愛知県労働者研修センター)で、名古屋東山ロータリークラブをホストとして「自立」～守・破・離～のテーマのもと開催されました。

初日は強風で、寒い中を148名のロータリアンと135名の受講生が愛知県各地からご参加いただきました。

開会式では、ガバナー、ガバナーエレクトにご挨拶をいただき、基調講演に入りました。

基調講演は、近藤重助氏(現在 タイガー総業(株)取締役社長室長。昭和42年全日本学生剣道大会個人優勝。剣道教士七段)により、テーマの「守・破・離」を題材として行われました。講演内容は、ご自分の剣道人生の歩みをテーマにそって分かりやすくお話いただくとともに、「剣道の理念」を通して、人としての生き方をご示唆いただきました。

講演後は、多くの方から、「いいお話だった」とのお声をかけていただきました。

基調講演の後は、高校生(2分科会)、大学生(2分科会)、社会人(2分科会)の6分科会に分かれて、「自立」～守・破・離～をテーマとしてグループ・ディスカッションにはいりました。各分科会には、ライラ友の会の会員をはじめ、今年は、ロータリアンも議長役として、またカウンセラーとしてご参加いただき、大変意義深い研修会になったと思っております。

初日の分科会は、時間を区切って、自己紹介ゲームにはじまり、「自立」～守・破・離～を議題として、受講生から選出したリーダーをもとに話し合いました。

夕食後の分科会では、初日のまとめにはいりました。ガバナーも各分科会をまわっていただき、それぞれの分科会での励みになりました。分科会終了後もグループの仲間意識が次第に盛り上がってきたのか、外は雪がちらついていましたが、館内では消灯まで、わいわいルームで熱心な話し合いが行われていました。

二日目は、薄雪が残る中、早朝7時より全員屋外での体操をおこない、朝食。8時30分より各分科会を再開し、全体発表会にむけての準備になりました。

10時から行われた全体発表会では、各分科会の趣向をこらした発表が続き、笑いあり、うなづく場面あり、考えさせられる場面ありと、個性あふれる感動的な発表が行われました。この研修では、上から何かを教え込むのではなく、参加者ひとりひとりが自分自身で、リーダーシップを学ぶと同時に皆の意見を集約させて、他の人に自分達がまとめた意見を発表するといったプレゼンテーション能力の育成もねらっていたので、そうした意味では大変よかったと思っております。

閉会式では、ガバナーの講評に続いて、今年国際RYLAに参加する尾崎君(豊橋ゴールデンRC)が代表で修了証を受け取り、その抱負を英語でスピーチをしてくれました。

ガバナーの温かいご支援と、献身的にご努力いただいた名古屋東山ロータリークラブの実行委員会の皆様に心から感謝申し上げセミナーの報告とさせていただきます。



西名古屋分区 I M 報告

2008・2・18(月) 名古屋観光ホテル	
西名古屋分区ガバナー補佐 杉本仁至	
登録数	657名
テーマ	取り戻そう 日本人の誇りと自信を
実行委員長	山内芳郎



西名古屋分区のI.M.を、2008年2月18日(月)15:30より名古屋観光ホテルにて「取り戻そう 日本人の誇りと自信を」をテーマに開催いたしました。

当日は、江崎柳節ガバナーをはじめ、盛田和昭、加納泉、内藤明人、岡部快圓、高橋治朗パストガバナー、片山主水ガバナーエレクト、佐藤正延東名古屋分区ガバナー補佐、歴代西名古屋分区ガバナー補佐、地区幹事、副幹事、近藤雄亮次年度ガバナー補佐、次年度ホストクラブ会長に特別出席者としてご参加いただきました。

今回は、657名の登録をいただき、講演会には、ご家族、社員、知人など133名のロータリー家族にも参加していただきました。

杉本ガバナー補佐より、ロータリークラブ誕生から100年が経過し、ロータリーの魅力がなくなりつつあり、会員が減少してきた現在、日本の文化に基づいた日本の手法でロータリーの活動、運営を行うべき、又、国旗の掲げ方の重要性をお話させていただきました。

つづいて、江崎ガバナーより、I.M.は日本ロータリーの文化であり今後もぜひ続けて頂きたい。「違いをもたらそう」というテーマの5つの問題点、会員増強、真のニーズにあった奉仕が行われているか、公共イメージの高揚、クラブを越えた指導者の育成、奉仕の資源を皆で理解しようと言う内容のご挨拶をいただきました。次の講演会は、「国家の品格」の著者である藤原正彦氏をお迎えし、先生には現在の日本が抱えている諸問題に

ついて、わかり易く、淡々としかもユーモアたっぷりの語り口で講演していただきました。

いま、大切なことは、日本人が忘れかけている誇りと自信を取り戻すことであり、それには、日本の文化、伝統、歴史を再認識することが重要であると強調され



ました。そして、何を取り戻すのかについては、日本人にしか理解できないと言われている情緒を、美的感受性を、惻隱のこころを、さらに武士道精神に従い、卑怯を憎む心を持つことをあげられました。いつも欧米のあとを追うのではなく、日本のよさを各国に伝えるべきであると、われわれが忘れていたことを再確認できた講演会になったのではないかと思います。

第二部の懇親会では、シャンソン歌手の岡山加代子さんに「日本の心のうた」と題し、知床旅情、青い山脈など情緒あふれる歌を選び、歌って頂きました。

各クラブの皆様のおかげで、I.M.の目的の一つでもあります地域のロータリアンとの親睦が図れたのではないかと思います、感謝を申し上げます。



東名古屋分区 IM 報告

2008・2・27(水) 名古屋マリオットアソシアホテル	
東名古屋分区ガバナー補佐 佐藤 正 延	
登 録 数	400名
テ ー マ	こころ
実行委員長	長 谷 照 一



私共東名古屋分区のインターシティーミーティング(IM)は西名古屋分区に続き去る2月27日水曜日まだ余寒の風の中、名古屋マリオットアソシアホテル16階を会場に分区内11ロータリークラブ400余名のご参加を頂き盛大に開催致す事が出来ました。本年度ホストを務めました名古屋守山ロータリークラブは、斎藤慎一郎会長のクラブテーマ“全員参加のロータリー”の旗印のもと、ベテラン会員・中堅会員そして若手会員の全員が長谷照一実行委員長を中心に、詳細のプロデュースはその道のベテラン橋本浩一幹事が総指揮を取りつつ、綿密に準備を進めてまいりました。会場であるマリオットアソシアホテルの関係者はもとより、特にホストクラブのメンバーである四方総支配人も奉仕の志のもと大変なご努力を頂きました事に心より感謝申し上げます。

さて、当日は午後4時からステージIが開催されました。特別出席者には江崎柳節ガバナー、河村嘉男地区幹事、塚原秀典地区副幹事、豊島徳三地区研修リーダー、斎藤直美パストガバナー、片山主水ガバナーエレクト、國分孝雄次期ガバナー補佐、そして杉本仁至西名古屋分区ガバナー補佐各氏をお迎え致しました。また特別参加者にはインターアクトクラブの愛知県立千種高等学校、桜花学園高等学校、そして守山R、Cとご縁のある守山RCC赤堀会長等関係の皆様のご参加を頂き緊張のなか、今年のIMテーマ(日本人の)“こころ”をベースに心を尽くした舞台が華やかに始まりました。

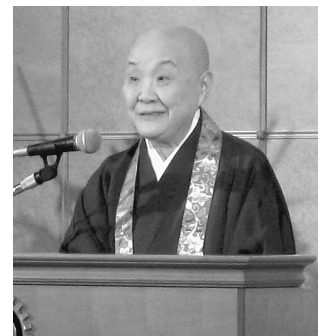
先ず江崎ガバナーの心温まる格調高いご挨拶、中でもRI会長の『ロータリーは分かちあいの心』と地区の『違いをもたらそう』のテーマのもと、私共東名古屋分区内各クラブの諸活動に合わせた励ましのお言葉、また、

IMは分区内各クラブの会員各々が自分のクラブのバリエアを越えて交流しロータリアンとしての歓びと感動を与え合う場所であるとお言葉には参加者全員が感銘を致しました。

ステージIIのメインの講演者には先頃文化勲章を受章されました僧侶であり作家の瀬戸内寂聴師をお迎え致しました。御歳86歳とは思えない素敵な感性と語り口で「源氏物語」を題材にされた“人の心の美しさ・醜さ・優しさ”等の奥深さについて、ご自身の深い人生経験とユーモアを交えた講演には、時の経つのも忘れて感服致しました。また日本の精神文化程度の高さと歴史についても改めて大きな感動を覚えました。

続いての懇親会は、場所を同ホテルのメインホールであります16階のボールルームに移し、会場を一杯に使うて明るい未来を思わせる素晴らしいセッティングの中で開催されました。

開会に当たりましては、私共が尊敬する豊島徳三パストガバナー(地区研修リーダー)より含蓄とユーモア溢れるご挨拶を頂きましての乾杯の後会食に移りましたが、江崎ガバナーのお言葉通り参加者全員が心を開いてクラブの垣根を越えて歓談する光景が随所で見受けられ、分区内が一堂に会した喜びを分かち合っている様に感激さえ覚えました。またアトラクションでは下園弘明&フレンズによる70年代のフォークソングに酔いしれ、手拍子あり、踊りありと華やいだ空気は時の経つのも忘れさせ参加者からはアンコールの声が次々に上がり、中には「こんな楽しいIMに参加出来てロータリアンとしての幸福を味わっている」との称賛の言葉を頂きました。特別出席者始め皆様に御礼を申し上げている間に、次第に夜は更けて行きました。



西三河分区 I M 報告

2008・3・5(水) 知立リリオコンサートホール・知立セントピアホテル	
西三河分区ガバナー補佐 金子利夫	
登録数	558名
テーマ	違いをもたらそう
実行委員長	橋本光雄

西三河分区インターシティーミーティングを、2008年3月5日(水)に、知立リリオコンサートホール・知立セントピアホテルにて開催いたしました。ガバナー補佐に金子利夫君を輩出し、ホストを務めさせて頂きました知立RCより報告いたします。

今回のI.M.開催にあたり、橋本光雄君を実行委員長とし、知立クラブ全会員でIM実行委員会を構成し、準備を進めてまいりました。先ず始めに、江崎ガバナーによる地区運営方針を受けて、

テーマを

「違いをもたらそう」

- 1) 分区固有の文化と意欲喚起
- 2) 分区之知己
- 3) 豊かに質素に

クラブフォーラムを

○各クラブが歴史と伝統の中で築かれた長所・魅力について、会長による発表

として進めることを決めました。

当初より、実行委員長には二つの強い思いがありました。一つは、分区内の多くの会員にご参加頂きたいこと。もう一つは、各クラブの会長さんに発表を頂き、各クラブの違いを知ると同時に、分区内の財産として情報を共有したい、ことでありました。その思いを伝えるため、分区内の全クラブを訪問させて頂き、参加の呼びかけと会長発表をお願いいたしました。その結果、分区内の会員全員の558名の登録を頂き、会長発表についても主旨を理解頂くことができました。分区内の会員各位の友情に感謝、感謝でありました。

当日を迎え、江崎柳節ガバナーをはじめ9名の特別出席者にご来場頂き、開会しました。

第一部式典は、オープニングとして分区内各市町のお祭りを映像でご覧頂き、江崎ガバナーから心温まるご挨拶をいただきました。

第二部クラブフォーラムで各クラブ会長から発表を頂きました。内容は以下の通りです。

刈谷RC 橋本恭典会長

1. 「14年目の世界社会奉仕(WCS)活動」

安城RC 竹内通裕会長

安城クラブの「One Difference」

1. 安城少年野球サークルの支援(R.C.C.)
2. 油が淵の浄化運動への協力
3. 安城学園高校インターアクトクラブの支援

西尾RC 田中正規会長

1. クラブ50年の歩み

2. 環境活動

- ・ビオトープ・みどり川のクリーン作戦
- ・アフリカ・ウガンダへ井戸

3. 74名の奨学生

碧南RC 鈴木敏弘会長

1. “創立50周年に向かって”
2. 楽しい例会
3. 会員増強の特徴
4. 米山記念奨学会への寄付

一色RC 神谷正康会長

1. 45周年記念に一色、吉良、幡豆の3町にAEDを1台ずつ寄贈
2. 一色マラソンにボランティアとして運営に協力し、出発・ゴール地点にエアアーチを寄贈
3. 佐久島の海岸清掃

高浜RC 田代清一会長

1. ロータリー青少年交換留学生 受入43人 派遣41人

西尾KIRARARC 岡田義雄会長

1. 矢作川クリーン作戦
2. 元気な職場訪問例会
3. 新世代委員会の科学実験室

三河安城RC 畔柳弘文会長

1. 「油が淵」にEM菌(有用微生物群)培養液放流事業

知立RC 竹内博之会長

1. 池鯉鮒
2. 杜若(かきつばた)大賞(四大奉仕部門で地域の業績や善行に優れた個人・団体を表彰する。)

どのクラブも、固有の活動に重点を置いた興味深い内容で、時折ユーモアを交えた各会長さんの個性あふれる魅力ある発表でありました。メイン会場だけでなく、第2会場で同時放映し、大勢の会員が熱心に聞き入りました。各クラブの事前準備も万全で、予定の時間通りのスムーズな進行でありました。会長さんをはじめとする各クラブの関係者が、真剣に準備してくださったことを実感しました。フォーラムの最後には、各クラブの名前でロータリー財団に、登録料の中から558,000円を寄付いたしました。

第三部懇親会では、分区内の交換学生、米山奨学生も交えて、会場一杯の参加者で盛り上がりました。西三河分区の会員間の交流が一層深まり、さらなる絆で結ばれたと感じることの出来た一日でありました。最後に、地区の関係各位、分区内の全会員のご理解ご協力に感謝を申し上げ、西三河分区I.M.の実施報告とさせていただきます。



2007~2008年度 国際ロータリー第2760地区委員長会議

広報委員会

委員長 青木 勇 作



厳しい寒さの中、去る2月12日（火）16時30分から19時30分の3時間余り、名鉄グランドホテルにおいて当年度の「第2回広報・雑誌委員長会議」を約100人の皆様に各地からご参加頂き、開催いたしました。

当日は、江崎柳節ガバナー、片山主水ガバナーエレクト、藤井伸三ロータリーの友地区委員から、会員各自と各クラブにおける広報活動がいかに大切かについてお話を頂きました。今回は、特に片山ガバナーエレクトから新年度における広報活動を重視される展開について、一段と強いご要請もいただきましたので、印象深いものでした。

又、広報委員会からも、私がおのののささやかな活動状況について簡単にご報告するとともに、木下桂一広報委員から、昨年9月の第1回会議でご出席の皆様にお願ひした「アンケート」のまとめを報告してもらいました。

回答を寄せられたのは、81クラブのうち3分の1程度のクラブでしたが、いずれもやる気満々の取り組みを目指しておられ、この1年の各クラブにおける意識の高まりが、はっきりと分かるような喜ばしい結果でした。

引き続き、この結果を参考にして、出席されたクラブを分区ごとに10のグループに分け、それぞれのクラブの活動について意見の交換を行なって頂きました。

最後に代表して3つのグループからその結果をご報告して頂きましたが、討議することもその結果も、今後の活動に役に立つものと、喜んで頂きました。

18時30分頃からは、簡素な懇親会を行い皆様に仲間として親しくご懇談頂くことが出来ました。アトラクションの「マジック」をお楽しみ頂き、一丸となった「広報マインド」の高まりを感じつつ散会しました。



2007～2008年度 国際ロータリー第2760地区第7回RCC交流会議

RCC委員会

委員長 縣 政 行

2月22日、名鉄グランドホテルにおいて、第7回RCC交流会議が開催されました。

RCCの交流会議は隔年開催で、今回も地区内11RCC隊員の皆様と、地区内のロータリークラブの各代表者の方々とが一同に会し、情報交換・親睦交流を行いました。

本会議では、はじめに江崎柳節ガバナーより「ロータリーには様々なプログラムがあるが、地域のニーズに合った事業、そして、地域に密着したことができる事業はRCCが一番であると思う」また、「RCCの活動をさらに各地域に広げて意義あるものにし、その活動が軌道に乗ったら次ぎのニーズをご提案いただきたいと思う」と、RCC活動の意義と、今後の活動の拡がりについての期待を述べられました。

つづいて、11チームの代表からプロジェクターで写真を使つての現況報告が行われ、各チームの取り組みや今後の展開についての説明があり、日頃の積極的な活動ぶりが紹介されました。

最後のガバナー講評では、「各チームの素晴らしい実績に、深い感銘を受けた」

また、「ロータリークラブは地域のニーズに対しての奉仕があまり得意ではなかった。このところロータリーでは、地域のニーズを十分に皆様方と相談し、それを応援していこうとすることが課題になってきている。そういう意味では、社会奉仕の中でもこのRCCの活動がこれからはますます大きなものになるので、各クラブでぜひRCCの設置を考えてもらいたい」と総括されました。

会議後、立食懇親会では、多数のロータリアンとRCC隊員の間で親睦交流、情報交換が行われ、午後7時、盛会裡に終了しました。





2007～2008年度 国際ロータリー第2760地区委員長会議

新世代委員会

委員長 加藤 康 治

クラブ新世代委員長会議はライラセミナーと併用して同会場にて地区内100名余のロータリアンの出席のもと、江崎ガバナリーの点鐘にて開催されました。

第1回のクラブ新世代委員会が9月に開催され、テーブル・ディスカッション形式にて担当クラブ委員長より数々の現況報告と提案事項等の発表をいただきました。新世代委員会からはそれらの会議資料を配布し発表いたしました。

◎**新世代テーブル**：担当委員長が一年単位では理解が難しい。三年担当制は取り入れないと難しいのではないかと。インターアクト・ローターアクト・ライラに対する時間がクラブ例会に設定されていない。

キャリア・スタートに対する説明がクラブ内でされていない。

◎**IAテーブル**：提唱クラブと顧問先生との関係をどのように築くか理解しがたい。

殆どが地区委員会任せではないか。生徒達にインターアクトクラブの目的を伝える義務があるのではないかと。

◎**RAテーブル**：アクト例会にロータリアンの出席が殆どない、RAの年間行事予定がクラブ会員に周知されていない。アクト決算の内容がよくわからない。

など多くの提言事項が発表されました。

加藤明宏インターアクト委員長

現況報告として、7月20日よりオーストラリアのパスにて海外研修を行う予定、派遣に対するクラブからの支援を要請。

坪井和義ローターアクト委員長

2009年～2010年度の全国ローターアクト研修会が当地区開催に決定したこと、会員増強を提唱クラブに要請。

坂田憲治ライラ委員長

昨年度より国際大会に派遣しているライラ受講生への2名派遣が決定し両名のプロフィールが発表された。

清 和音君 (1989年6月8日生) 19歳 名古屋清須ロータリークラブ推薦

尾崎 雅輝君 (1981年9月3日生) 26歳 豊橋ゴールドデンロータリークラブ推薦

2名が6月12日～15日にカルフォルニア州 (Mount St Mary's CA90049) で開催されますライラ国際年次大会に出席することが正式に発表されました。

各委員長より事業報告と後期の行事予定をお知らせ致し、一層のご協力をお願いし、クラブ委員長会議を終えました。

名古屋東山ロータリークラブ奥村会長、松野実行委員長はじめ全会員の誠心誠意のご努力に感謝申し上げます、実りあるライラセミナーとクラブ新世代委員長会議が開催されたことに感謝申し上げます。

2008年4月地区主要行事

<諸会議>

- ◆4月13日(日) 9:30~16:00 2008~2009年度のための地区協議会 ウェスティンナゴヤキャッスル

<地区委員会>

- ◆4月1日(火) 15:00~16:30 第4回広報委員会 ガバナー事務所分室
◆4月3日(木) 15:00~16:30 第5回地区米山奨学委員会 ガバナー事務所分室
◆4月4日(金) 16:00~18:00 第17回GSE委員会 ガバナー事務所分室
◆4月11日(金) 18:30~20:30 GSE派遣メンバー壮行会 名古屋東急ホテル
◆4月中旬 第6回青少年交換委員会 未定
◆4月13日(日) 15:00~16:30 第6回恒久基金委員会 ガバナー事務所分室
◆4月24日(木) 17:00~18:30 第3回環境保全委員会 クレストンホテル
◆4月25日(金) 18:00~21:00 現・次年度ロータリー財団委員会 名鉄グランドホテル
◆4月25日(金) 第5回ポリオプラス委員会 名鉄グランドホテル

<地区内クラブ委員長会議>

- ◆4月23日(水) 15:30~19:00 第2回地区国際奉仕委員長会議 名鉄グランドホテル

<委員会主要行事>

- ◆4月12日(土)~5月11日(日) GSE派遣(D2760→D1780)

<式典及び記念行事>

- ◆4月17日(木) 岡崎東RC創立35周年記念式典 岡崎市竜美丘会館

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ハイライトよねやま97号★

2007年3月13日発行

●今月のトピックス

1. 寄付金速報 — 3カ月ぶりに前年度を上回る —
2. ベトナム現地採用奨学生の最新情報
3. すばらしい青年との出会いに感謝 — カウンセラーからの便り —

詳細は、米山記念奨学会ホームページ【<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>】をご覧ください。

【ペルー沖地震に関する義援金送呈書】

2007年8月15日に発生したペルー沖地震に対する義援金として、国際ロータリー第2760地区（愛知）の会員より寄贈されました義援金を在名古屋ペルー共和国領事館へ3月5日(水)送呈いたしました。

(義援金は、ペルー共和国大使館ご依頼により、米国ドルの小切手(額面\$14,149.36)にてお渡し致しました)。



義援金総額 金 1,518,367 円也

(小切手額面 \$14,149.36)

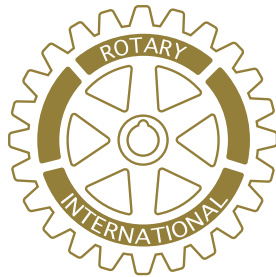
会員数及び出席報告 (平成20年2月)

クラブ名	会員数	会員数	会員数	当	入	退	例	2月		
	2007年 7月1日	7月1日 女性	2008年 2月末日	月 女性	会 2月	会 2月			会 累計	出席率
半田	59	3	59	3	0	2	0	2	4	97.73%
常滑	51	0	51	0	0	1	0	1	5	96.19%
東海	60	2	62	2	2	3	0	1	4	98.29%
東知多	22	1	24	1	0	3	1	1	4	83.34%
半田南	46	1	46	1	0	1	0	1	4	97.63%
知多	23	0	24	0	0	1	0	0	3	94.44%
大府	22	1	24	1	0	2	0	0	4	75.50%
7RC	283	8	290	8	2	13	1	6		91.87%
一宮	80	0	82	0	0	4	0	2	4	98.30%
津島	76	3	75	3	0	0	1	1	4	92.67%
尾西	28	1	29	1	0	1	0	0	3	94.25%
一宮北	51	0	47	0	0	0	0	4	5	94.30%
稲沢	56	0	55	0	0	0	0	1	4	89.00%
あま	89	0	90	0	0	3	0	2	3	98.03%
名古屋清須	39	1	38	1	0	1	0	2	3	86.66%
尾張中央	46	0	43	0	0	0	0	3	4	97.40%
一宮中央	52	5	53	5	0	2	0	1	4	93.22%
9RC	517	10	512	10	0	11	1	16		93.76%
瀬戸	80	3	79	3	0	1	0	2	4	100.00%
犬山	79	0	79	0	0	3	0	3	4	100.00%
江南	54	1	54	1	0	2	0	2	4	89.68%
小牧	38	3	38	3	0	0	0	0	4	96.76%
春日井	62	2	62	3	0	2	1	2	5	96.13%
尾張旭	30	0	30	0	0	2	0	2	5	99.33%
名古屋空港	57	3	58	3	0	1	0	0	3	98.12%
瀬戸北	70	5	74	6	0	6	1	2	4	100.00%
岩倉	19	1	19	1	0	0	0	0	3	94.73%
名古屋城北	21	2	22	3	0	1	0	0	4	73.87%
愛知長久手	26	3	23	3	0	0	0	3	4	91.30%
11RC	536	23	538	26	0	18	2	16		94.54%
名古屋	182	0	192	0	0	13	0	3	4	84.57%
名古屋西	96	0	104	0	1	11	0	3	4	91.06%
名古屋南	118	0	122	0	1	4	0	0	4	91.63%
名古屋みなと	76	0	76	2	0	4	0	4	5	93.18%
名古屋東南	67	5	83	6	0	18	0	2	4	92.17%
名古屋中	138	0	141	0	0	8	0	5	3	98.65%
名古屋瑞穂	72	0	71	0	0	0	0	1	4	95.60%
名古屋大須	68	3	69	3	0	2	0	1	4	93.66%
名古屋栄	68	0	71	0	1	6	0	3	3	96.04%
名古屋名南	74	13	73	13	0	1	0	2	3	100.00%
名古屋名駅	93	3	97	3	0	6	0	2	4	94.83%
名古屋西南	46	6	47	5	0	4	0	3	4	95.37%
12RC	1,098	30	1,146	32	3	77	0	29		93.90%

クラブ		平均
平均出席率	81	94.23%

クラブ名	会員数	会員数	会員数	当	入	退	例	2月		
	2007年 7月1日	7月1日 女性	2008年 2月末日	月 女性	会 2月	会 2月			会 累計	出席率
名古屋北	96	0	94	0	0	2	0	4	4	96.44%
名古屋東	82	0	90	0	0	8	0	0	3	94.15%
名古屋守山	62	7	61	7	0	1	0	2	4	97.54%
名古屋和合	98	0	96	0	1	3	0	5	4	80.91%
名古屋名東	59	7	59	7	0	3	0	3	3	100.00%
名古屋名北	48	7	48	7	0	0	0	0	4	97.19%
名古屋千種	58	6	60	6	1	4	1	2	3	93.98%
名古屋昭和	55	0	56	0	0	4	0	3	3	95.67%
名古屋錦	33	6	35	6	0	2	0	0	4	82.35%
名古屋東山	48	2	50	2	0	2	0	0	4	92.71%
名古屋葵	24	0	27	0	0	3	0	0	4	96.15%
11RC	663	35	676	35	2	32	1	19		93.37%
豊橋	119	4	120	4	1	2	0	1	4	91.03%
蒲郡	57	0	56	0	1	2	0	3	5	89.86%
豊橋北	90	2	92	2	0	4	0	2	4	97.79%
豊川	66	0	68	0	0	4	0	2	4	92.91%
田原	54	1	55	1	0	3	0	2	5	92.04%
豊橋南	63	0	61	0	0	1	0	3	3	94.71%
新城	50	0	51	0	0	3	0	2	5	88.98%
渥美	36	0	36	0	0	1	0	1	4	81.82%
奥三河	18	3	19	3	0	2	0	1	4	93.40%
豊川宝飯	57	2	55	2	0	2	0	4	4	86.90%
豊橋ゴールド	59	0	58	0	0	1	0	2	4	97.26%
田原パシフィック	63	0	64	0	0	3	1	2	4	94.20%
豊橋東	45	0	40	0	0	1	0	6	4	98.75%
13RC	777	12	775	12	2	29	1	31		92.28%
岡崎	92	1	96	1	0	7	1	3	4	100.00%
豊田	77	0	84	0	1	11	1	4	4	99.68%
岡崎南	94	2	95	2	2	3	0	2	4	96.10%
豊田西	99	0	102	0	1	5	0	2	3	100.00%
岡崎城南	75	0	76	0	0	1	0	0	3	96.45%
豊田三好	22	2	21	2	0	0	0	1	3	86.67%
豊田中	49	5	51	5	0	3	0	1	4	95.50%
9RC	648	10	664	10	4	36	2	20		96.58%
刈谷	92	4	95	4	0	7	0	4	3	100.00%
安城	60	1	61	1	0	1	0	0	4	98.33%
西尾	71	1	76	1	0	5	0	0	4	95.88%
碧南	79	0	80	0	1	4	0	3	4	95.95%
一色	29	0	29	0	0	0	0	0	4	90.00%
高浜	39	2	41	2	0	2	0	0	4	100.00%
知立	65	0	66	0	1	2	0	1	4	100.00%
西尾KIRARA	58	0	59	0	0	2	0	1	5	100.00%
三河安城	56	6	57	6	0	1	0	0	4	97.37%
9RC	549	14	564	14	2	24	0	9		97.50%

地区内クラブ数	81RC	2007年7月1日会員数	5,071名	内女性142	増加会員数(累計)	240名
		当月会員数	5,165名	内女性147	減少会員数(累計)	146名
		当月平均出席率	94.23%		差引純増会員数(累計)	94名



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760



表紙に寄せて

エーゲ海の白昼夢 撮影 江崎 柳節

エーゲ海ではロータリーの思い出はない。ここは医学のふるさとコス島があって憧れをもっていた。この島はギリシャ神話では医学の神様アスクレピウスが“起死回生の術”を施していた処である。紀元前5世紀には医聖ヒポクラテスが系統医学を人に諭した島である。20世紀最大の発見とされるクノッソス宮跡もミロのヴィーナスもこのエーゲ文明の精華である。

ある年このエーゲ海をクルーズしながら国際癌学会が開かれた。若い自分のちょっとメランコリックな思い出の一コマである。エーゲ海には実に美しい島々が神話に飾られて、散らばっている。その時は参加者の多さから上陸できない島があり、それが今日までこだわりになっていた。それはサントリニ島である。一夜にして消えたアトランティス大陸の史実はこの島ではないかとも云われる。エーゲ海の真ん中に断崖絶壁の小島が海に開いたカルデラ湖を持ち三日月様に崖として残っている、目もくらむような孤島である。島の上は雪を頂いたように真っ白な家々が崩れ落ちそうに寄り添っている。再び訪れて、ここで体験した真昼の幻想は来て良かったとつくづく思う凄く感動であった。(柳節)

ガバナー事務所

〒485-0041 小牧市小牧五丁目253
小牧商工会議所会館5F
TEL0568-74-6111 FAX0568-74-6112
HP : <http://www.rotary2760.org>
E-mail : governor07-08@rotary2760.org